

公益財団法人 庭野平和財団
平成 26 年度 事業報告
(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

[事業報告]

I. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動を推進する宗教組織および市民組織を次の事業で支援し、その活動の質的向上とその活性化を図る。

1. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

宗教組織および市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行い、その結果を公表する。主たる目的は、それぞれの組織関係者の意識向上をはかることで、それぞれの組織活動の質的向上を目指し、宗教的精神にもとづく平和のための活動に資する。

- (1) 第三回社会調査「宗教団体の社会貢献活動に関する調査」(平成 28 年度実施予定)に関する事業は特に行わなかった。
- (2) 第二回社会調査の結果の確認と、第三回の社会調査を平成 28 年度に実施するため、平成 27 年度に調査の準備を行なうことを専門家である石井研士先生と確認した。
- (3) 情報・資料収集
 - A. アジア宗教者平和会議大会への参加、調査、情報収集：
 - a. 期 間：9 月 24 日～28 日
 - b. 開催地：韓国仁川市
 - c. 概 要：アジア十数カ国の様々な宗教指導者が参加する 4～5 年に一度のアジア大会。当財団からは高谷事務局長が参加した。とりわけ、①日韓・日中の課題、②エネルギー・環境問題、③GNH など地域開発に関する課題等に関する参加者の意見を聴取した。
 - B. 「9 条世界宗教者会議」(「九条アジア宗教者会議」が、2014 年 4 月に改称)の情報収集：4 月の定例会議で、昨年度から計画していた第 4 回世界会議の東京

開催（12月1日―5日）が決定した。当財団からは、庭野理事長、野口専務理事が参加した。

- a. 期間：12月1日―5日、（本会議は、12月3日―5日で、海外からWCC総幹事一行とともに数十名が参加した。1日―2日は、現地学習会として、横須賀・厚木の米軍基地を見学、2日は、靖国神社の見学が、外国人参加者30名を中心に開催された。）
 - b. 開催地：東京都千代田区「アジア青少年センター」（「在日韓国YMCA」）
 - c. 概要：世界15ヶ国・地域から120名が参加。基調発題は高橋哲哉東京大学教授、発題者は、WCC総幹事オラフ・トベイトウ師（1日目）、日本宗教者平和会議代表委員、宮城泰年師（京都・聖護院門跡門主）（2日目）があり、最終日に声明文を発表するとともに会場周辺で平和行進をおこなった。
- C. 日韓宗教者フォーラム主催、人材育成プログラム（SEAL）の実施
- a. 期間：8月29日―9月2日
 - b. 開催地：韓国・ソウル特別市（東京にて開催予定であったが変更）
 - c. 概要：事務局の韓国設置に伴い開催会場をソウル市に変更した。韓国側の受入れで、日韓の人材交流・育成プログラムを実施し、両国あわせて約20名が参加した。

2. 普及啓発事業

公益目的事業（庭野平和賞の事業と助成事業）の成果を、宗教組織および市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催により普及啓発する。そのことにより宗教組織および市民組織の人材の育成、専門知識の取得および組織の活動の充実を目指す

（1）庭野平和賞受賞者記者懇談会（京都）

京都宗教記者クラブの記者14名が参加し、平和賞贈呈式を写真による紹介の後、第31回庭野平和賞受賞者ディーナ・メリアム氏と質疑応答を行なった。

（2）GNH、地元学とエネルギー自給に関する現地学習、シンポジウム

A. 現地学習ツアー

- a. テーマ：「“GNHと地域共同体の再生”」
- b. 期間：平成26年度10月22日―24日
- c. 開催地：群馬県上野村
- d. 概要：GNH、地域再生問題に関心のあるNGO/NPO関係者、宗教者、研究

者 15 名が参加。開催地である「地元（＝群馬県上野村）」における諸問題の中から、この地域の地域再生問題について学んだ。－とりわけ、地元の「高齢化」、「過疎化」が大きな問題であるが、その一方、これらの問題に対する数字だけではない、「地元」ならではの独自の対応の仕方があることが、明確になった。また、上野村の再生には、いくつかの特徴があるが、とりわけ①山間地の地の利を生かした木材－とりわけ木材ペレットの利用促進（発電、ペレットストーブなど）を通じたエネルギー自給、②東京電力の揚水発電所の建設設置に伴う交付金の獲得により村財政の黒字化、③国政・県政への働きかけによる資金の獲得（長大なトンネルの建設）による交通インフラの整備などがとりわけ目に付いた。

－ なお、この現地学習会には、内山節先生が講師として参加した。上野村の人々のあり方や村の自然体験から見た現代社会に対する提言を頂いた。

B. GNH シンポジウム開催

- a. テーマ：「日本の“むら”から未来を想像する－私たちの“生きる場”づくり－」
- b. 日 時：06 月 23 日、午後 1 時－5 時半
- c. 会 場：中野サンプラザ（東京・中野区）
- d. 概 要：基調発題者は内山節（立教大学大学院教授）。基調講演終了後のパネルディスカッションは、草郷孝好（関西大学社会学部教授）がコーディネーターを努めていただき、パネリストには廣瀬稔也（NPO 法人「ひずるしい鎮玉」理事）、槇ひさ恵（NPO 法人「明るい社会づくり運動」理事長-当時）および内山先生が参加した。パネル終了後、参加者と質疑応答が行なわれた。GNH、地元学など「人間と来るべき社会」に関心のある NGO/NPO 関係者、宗教者、研究者 50 名程度が参加。

(3) 「東アジア平和フォーラム」研究会の継続に関する検討

本フォーラムを担ってきた人々の変化に伴い、今後の研究会のありようを検討したが、明確な結論を出すには至らなかった。

(4) 「現代世界の危機における宗教と宗教研究の役割」(NPF プログラムで継続助成－2009 年終了) の研究成果出版（書籍名：「宗教と宗教学のあいだ」平成 27 年 6 月に上智大学出版会より発刊予定）および出版記念シンポジウム（平成 27 年 10 月予定）を開催する。

（一昨年度、昨年度予定していたが、英文原稿の日本語訳・編集の遅れのため、

出版・発表が出来なかった。)

(5) BNN（仏教者 NGO ネットワーク）活動の促進

平成 24 年度に作成した「減災・防災」ハンドブックの配布および普及活動のために宗派・教派に「減災・防災」セミナーの宣伝を行ない、講師の派遣およびセミナーを実施した。平成 26 年 12 月末現在、宗教関係団体、NGO/NPO 等が 15, 168 部を購入し、その活用のための講座を全国各地の仏教宗派・教派で 24 回開催した。

(6) ウェブサイト、E-mail 等を利用した情報公開

ウェブサイトのサーバー会社を新たに移設し、平成 27 年 3 月 1 日付けでホームページ等の改善を実施した。

II. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を通して、人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進に顕著な功績をあげた個人、または団体を表彰し、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報する。

1. 庭野平和賞

(1) 第 31 回贈呈式・記念講演・レセプション

a. 日 時：平成 26 年 5 月 16 日（金）午前 10 時 30 分～午後 1 時 30 分

b. 会 場：国際文化会館

c. 概 要：第 31 回庭野平和賞贈呈、祝辞、受賞者による記念講演、レセプション。

d. 参加者：ディーナ・メリアム氏（第 31 回庭野平和賞受賞者）、財団関係者、宗教関係者、学術経験者、市民活動関係者、マスコミ他、約 150 名参加。

(2) 関連行事

平成 26 年 5 月 15 日（木） 歓迎昼食会

16 日（金） 庭野平和賞執行委員会、指名委員会（贈呈式、レセプション終了後）

17 日（土） 記者懇談会（京都） 公 I（1）の項参照。

19 日（月） 理事長による受賞者インタビュー（佼成新聞）

(3) 平成 27 年度の予定（第 32 回受賞者選定、第 33 回候補者受付及び審査他）

平成 26 年 4 月 一般推薦による第 32 回候補者第一次審査

平成 26 年 5 月	一般推薦による第 32 回候補者第二次審査
5 月 16 日	庭野平和賞執行委員会、指名委員会
平成 26 年 6 月	庭野平和賞委員会委員へ推薦書送付
平成 26 年 8 月	庭野平和賞委員会委員からの推薦締め切り
平成 26 年 10 月 28 日	庭野平和賞委員会にて第 32 回受賞者決定、調査、内示
平成 27 年 2 月 24 日	第 32 回受賞者公式発表
2 月 28 日	第 33 回候補者一般推薦締め切り

2. 庭野平和賞委員会

上記日程で選考を行い、10 月 28 日に開催された委員会において、第 32 回庭野平和賞受賞者にナイジェリア連邦共和国の牧師で同国の民間団体「障壁なき女性たちのイニシアチブ」会長のエスター・アビミク・イバンガ師が選ばれた。その後、イバンガ師に委員会の決定を通知し、受諾の意思を確認後、平成 27 年 2 月 24 日、京都とバチカン（ローマ）において記者発表を行なった。

3. 「庭野平和賞奨励賞」企画委員会

平成 27 年度より実施予定の「庭野平和賞奨励賞 企画委員会」の準備委員会を開催した。

III. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。

1. 公募による助成

(1) 助成総額 9,700,000 円 (合計 21 件の活動に助成)

(前期) 募集期間 平成 26 年 3 月 15 日～4 月 30 日 (必着)

選考委員会 平成 26 年 7 月 8 日

助成期間 平成 26 年 8 月から 1 年間

(後期) 募集期間 平成 26 年 7 月 1 日～8 月 13 日 (必着)

選考委員会 平成 26 年 9 月 30 日

助成期間 平成 26 年 11 月から 1 年間

(2) 公募助成小委員会

石川治子委員長他 5 名

2. 非公募による助成事業 (NPF プログラム)

(1) 助成案件 - NPF プログラム助成小委員会にて審議、採択した案件。

A. 「地域の“縁”と NGO におけるファンドレイジング」(3 年目)

a. 被助成団体：(特活) 国際協力 NGO センター (JANIC)

b. 助成金額：3,000,000 円

B. 「みんなの希望ファンド NPF 枠」(2 年目)

a. 被助成団体：受入全国協議会

b. 助成金額：3,000,000 円

C. 東アジア次世代リーダー育成プログラム (1 年目)

a. 被助成団体：日韓平和フォーラム

b. 助成金額：3,000,000 円

(2) 臨時助成

A. 「ICC Conference on “The Presence and Future of Humanity in the Cosmos: Why Society Needs both the Science and the Humanities」

a. 被助成団体：Japan International Christian University Foundation

b. 助成金額：1,000,000 円

B. 時事問題市民学習会

a. 被助成団体：「時事問題市民学習会」世話人会

b. 助成金額：480,000 円

C. 9 条世界宗教者会議

a. 被助成団体：第 4 回「9 条世界宗教者会議」

b. 助成金額：1,000,000 円

D. Dialogue and Exchange Program: Myanmar monks' exposure to peace-building in Sri Lanka

a. 被助成団体：International Network of Engaged Buddhists (INEB)

b. 助成金額：1,000,000 円

E. Promoting a Culture of Peace and Active Non-violence in the Great Lakes Region of Africa

a. 被助成団体：Pax Christi International (PCI)

b. 助成金額：1,600,000円（＊）

＊平成25年度の収支相償の結果発生した、剰余金18,212,529円のうち平成26年度費消分

(3) NPFプログラム助成小委員会

星野昌子委員長他4名

3. 指定寄付による助成

(1) 南アジアプログラム - 立正佼成会一食平和基金からの指定寄付により実施。

A. 評価事業 - 本プログラムに対する評価事業を実施し、評価報告書を作成。平成26年

11月12日に評価報告会を中野サンプラザで実施した。

B. ブックレット製作 - 本プログラムの内容を紹介した小冊子の製作。(27年5月発刊予定)

4. 助成委員会の開催

「助成委員会規程」にもとづき、助成委員会を開催し、助成事業全体の方針、各小委員会の運営他、助成事業に関する重要事項を検討する。

[運営実務の概要]

I. 総務

1. 法務に関する業務

(1) 内閣府との連絡、交渉及び法務局への登記事務他

- ・平成26年6月30日 平成26年度事業報告等の提出
- ・平成27年3月30日 平成27年度事業計画書等の提出

2. 会議に関する業務

理事会、評議員会、監査等の開催状況は次の通り。

(1) 理事会

第13回理事会（平成26年4月17日）

審議事項

第1号議案 「代表理事（理事長）選定」の件

第14回理事会（平成26年5月30日）

審議事項

第1号議案 「平成25年度事業報告及び決算」の件

第2号議案 資産運用基本方針について

第3号議案 「第10回評議員会開催」の件

報告事項

1. 第10回評議員会における役員改選について

2. 「平成26年度事業計画・予算」の進捗状況について

第15回理事会（平成26年6月24日）

報告事項

1. 評議員会決議事項 「平成25年度事業報告及び決算」の件

2. 評議員会決議事項 「評議員選任」の件

3. 評議員会決議事項 「理事選任」の件

審議事項

第1号議案 「代表理事（理事長）及び業務執行理事（専務理事）選定」の件

第16回理事会（平成27年3月11日）

審議事項

第1号議案 「平成27年度事業計画（案）及び予算（案）」の件

第2号議案 「第11回評議員会の開催」に関する件

第3号議案 「謝金規程」の件

第4号議案 「定期預金の一部解約と新規債券購入」の件

報告事項

1. 平成 26 年度の事業経過報告・代表理事の職務執行報告について
2. 平成 26 年度収支決算見込について
3. 助成委員について
4. 第 17 回理事会の開催日の確認について

(2) 評議員会

第 10 回評議員会（平成 26 年 6 月 24 日）

審議事項

- 第 1 号議案 「平成 25 年度 事業報告及び決算」の件
- 第 2 号議案 「評議員選出」の件
- 第 3 号議案 「理事選出」の件

報告事項

1. 理事会決議事項 「資産運用基本方針」について
2. 理事会報告事項 「平成 26 年度事業計画・予算」の進捗状況について
(職務執行状況報告 (3 月 1 1 日～5 月 2 8 日))

第 11 回評議員会（平成 27 年 3 月 30 日）

審議事項

- 第 1 号議案 「理事 1 名選任の件」

報告事項「第 16 回理事会」について

1. 「平成 26 年度の事業経過報告・代表理事の職務執行報告」について
2. 「平成 26 年度収支決算見込」について
3. 「平成 27 年度事業計画・予算」について
4. 「助成委員」について
5. 「謝金規程」について
6. 「定期預金の一部解約と新規債券購入」について
7. 「第 12 回評議員会開催日の確認」について

(3) 監査

実施日： 平成26年5月21日

場 所： 庭野平和財団 会議室

内 容： 平成25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）会計監査・業務監査

（4）月例ミーティング

財団業務の推進にあたり理事長への報告・調整・打ち合わせ等

実施状況 4月30日、5月21日、6月27日、7月25日、8月22日、9月25日、10月21日、11月27日、12月22日、1月23日、2月27日、3月20日

3. 文書管理に関する業務

（1）各種文書の作成、提出、管理及び保管他

4. 人事及び福利厚生に関する業務

（1）勤怠管理、安全衛生及び福利厚生他

5. 庶務に関する業務

（1）什器備品、不動産、印刷物、公印等の管理他

（2）その他どの部門にも属さない事項の処理他

II. 財 務

1. 資産運用及び管理に関する業務

・平成26年6月11日

庭野平和賞賞金準備金の一部として、「三井住友銀行米ドル建債券」（100万ドル）購入。

・平成26年6月26日

債券1億円の償還にともない、新規債券「みずほ証券 パワーリバース債 シリーズ3214」（1億円）購入。

・平成26年6月27日

債券1億円の償還にともない、新規債券「MUS 豪ドル・パワーリバースコール4406 モルガン」（1億円）購入。

- 平成 26 年 6 月 27 日
債券 1 億円の償還にともない、新規債券「MUS インバースフローター3406-2 モルガン」(1 億円) 購入。
- 平成 26 年 8 月 20 日
債券 1 億円の償還にともない、新規債券「ドイツ銀行 AG ロンドン みずほ」(1 億円) 購入。
- 平成 26 年 12 月 7 日の債券 3 億円償還にともない、
平成 26 年 12 月 12 日に、新規債券「ユーロ円建リバースフローター債 日興」(1 億円) 購入。平成 27 年 1 月 8 日。「ユーロ円建リバースフローター債 みずほ」(1 億円) 購入。平成 27 年 1 月 13 日、新規債券「リバースフローター債 ゴールドマン・サックス 大和」(1 億円) 購入。
- 平成 27 年 2 月 5 日
債券 1 億円の償還にともない、新規債券「ユーロ円建パワーリバース債 (USD) 4165 みずほ」(1 億円) 購入。
- 平成 27 年 2 月 5 日
債券 1 億円の償還にともない、新規債券「ユーロ円建外国債 (日本製紙) みずほ」(1 億円) 購入。
- 平成 27 年 2 月 10 日
債券 1 億円の償還にともない、新規債券「ゴールドマン・サックス 円建インバースフローター4502 債 モルガン」(1 億円) 購入。
- 平成 27 年 2 月 13 日
債券 1 億円の償還にともない、新規債券「円建て米ドルハイパーリバースデュアル債 日興」(1 億円) 購入。
- 平成 27 年 2 月 13 日
債券 1 億円の償還にともない、新規債券「ユーロ円建リバースフローター債 日興」(1 億円) 購入。
- 平成 27 年 3 月 3 日
債券 1 億円の償還にともない、新規債券「米ドル連動パワーリバース シティグループ債 モルガン」(1 億円) 購入。
- 平成 27 年 3 月 10 日
債券 1 億円の償還にともない、新規債券「ユーロ円建リバースフローター債 日興」(1 億円) 購入。

- ・平成 27 年 3 月 20 日
債券 1 億円の償還にともない、新規債券「ユーロ円建パワーリバース債 みずほ」
(1 億円) 購入。

2. 経理、会計、記帳計算に関する業務

- ・手持ち金庫、通帳の管理 (外貨含む)。
- ・随時、送金手配 (海外送金含む)。
- ・日々の伝票記帳、毎月の伝票、月次決算書の作成、確認。
- ・源泉徴収税の納付。
- ・法廷調書の作成。
- ・仮払金の管理。
- ・寄付金の受付。
- ・国税、地方税への対応。

Ⅲ. 労務

1. 事務局人員構成 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

常勤	野口 陽一	専務理事
	高谷 忠嗣	事務局長
	保科 和市	総務主査・助成担当
	仲野 省吾	プログラムコーディネーター
	廣井 由紀子	総務・経理担当
非常勤	植原 有紀子	事業開発担当

2. 人事および福利厚生に関する業務

- ・勤怠管理及び出勤簿、勤怠月報の管理。
- ・社会保険業務。
- ・安全衛生及び福利厚生他

以上